

平成29年4月3日
市議会議員 坂澤博光

平成29年第1回各務原市議会が3月8日(水)から3月30日(木)まで開催されましたので、その概要について報告します。

1 平成29年度一般会計

予算総額約467億3,000万円で、前年度初めの予算に比較し2.8%の増加です。この予算を、各務原市の政策課題を踏まえ、子育て・教育・雇用・福祉・防災の分野で「地域におけるつながりや支え合う仕組み」をつくるために使っていきます。

2 条例の改正

- (1) 地方税法の一部改正に伴い、法人税割の税率「12.1%」を「8.4%」に引き下げる条例改正がなされました。
- (2) 各務原市教育センター条例が制定され、児童生徒・保護者・学校のあらゆる悩みや相談に対応したり、教職員・保護者・市民等を対象とした研修ができるようになりました。

3 お知らせ

平成29年度から始まる事業のうち、主な事業の概要を紹介します。

(1) 本市の仕事・魅力などを発信し、移住定住を促す事業

イオンモール各務原に訪れる人の約6割が市外の方であるという状況を踏まえ、各務原市の住まい・仕事・魅力に関する情報発信や移住定住に関する相談窓口をつくります。

(2) まちづくり担い手育成支援事業

若い世代の発想力・行動力を地域で活かし、まちづくり活動の活性化につなげるための学習や交流の場をつくります。

(3) 雇用を促進する事業

○岐阜・愛知県内の大学等と連携して、学内で企業説明会を開催し、地元大学生の市内企業への就職を促します。

○就活のプロを講師として招き、市内中小企業の採用担当者を対象に、セミナーや面接トレーニング研修会を開催し、採用力の強化や社員の定着化につなげます。

○市内の航空機関連企業を巡るバスツアーや大学の卒業生を交えた座談会を開催し、航空機産業に関心がある学生と市内企業との橋渡しをします。

(4) 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館運営管理協議会の設置

岐阜県と航空宇宙博物館が共同して管理し運営していくため、規約を定め、協議会を



つくり運営財団を置きます。

(5) 相談体制・支え合い体制をつくる事業

- 東保健相談センターで、子ども子育てに関する相談や、壮年期からの健康保持、健康増進について支援します。
- 住民が自主的に団体をつくり、その団体が、支援が必要な方に対して訪問型の生活支援サービスや通所型のミニデイサービスをする場合、団体に対して補助金を交付し地域の支え合い体制づくりを支援します。
- 市内のボランティアハウスに音楽健康指導士を派遣し、音楽を使った体操で介護予防を実施します。
- 3障がい（身体・知的・精神）に対応した総合的・専門的な相談窓口を置きます。
- 春と秋の年2回、生活支援サポーター養成講座を開催し、受講した方を市認定の生活支援ヘルパーに指定します。
- 将来を見据え、高齢者の生活支援・介護予防について、地域の課題やニーズを明らかにしていきます。
- 認知症の早期から家庭訪問を行い、本人や家族に対する初期の支援を包括的・集中的に実施する支援チームをつくります。



(6) 合葬墓整備事業

平成27年度にお墓に関するアンケート調査を実施したところ、約35%の方が従来型のお墓を望んでおられますが、約33%の方は合葬型のお墓を望まれました。また、お墓の継承者はいるが子や孫に迷惑かけたくないと回答された方が約41%、継承者がいないと回答された方が10%おられました。このような背景を踏まえ、市営墓地内に合葬型の埋蔵施設を作り、お墓継承者の減少に対応します。

4 スパークの一般質問

3月21日（火）に、「各務原市教育センター事業の目指す姿と事業内容」「本市が目指している雇用促進」「介護ロボット普及促進に関する支援」「防災キャンプ事業の内容」について質問しました。

質問内容と執行部からの回答については市政報告会で報告します。

第17回市政報告会

とき：平成29年4月29日（土）13時30分から1時間半

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp